

# 有馬歳事記

## 「震災から10年、感謝を込めて有馬から。有馬のまちと1・17温もり」震災防災シンポジウム

阪神・淡路大震災で、有馬温泉では死者は出なかったものの、旅館・ホテル、みやげもの店で建物の全壊・半壊など、被害は大きかった。当日の宿泊客への対応や、せまい道路、建物の耐震構造など、多くの反省点を振り返り、震災10年を迎えた今年1月17日「温泉と地震」をテーマにシンポジウムが、有馬グランドホテルにて開催された。

運べるように」の美しい合唱でオープニング。独立行政法人消防研究所理事長・室崎益輝さんの講演、作家・玉岡かおるさんの講演、NPOシンクタンク京都自然史研究所理事長・西村進さんの講演が続いた。玉岡かおるさんは鴨長明「方丈記」に記された地震のようすを例にとり、日本人の無常観や人間同士のつながりについて講演。

有馬では、1月17日周辺にシンポジウムの他、外湯の入浴料割引、旅館・ホテルの大浴場開放、鎮魂の灯りの点灯、有馬婦人会による豚汁の炊き出し、癒しのコンサート、防災訓練など、有馬をあけてさまざまな催しが開かれた。

シンポジウムは有馬小学校の児童による「しあわせ

運べるように」の美しい合唱でオープニング。独立行政法人消防研究所理事長・室崎益輝さんの講演、作家・玉岡かおるさんの講演、NPOシンクタンク京都自然史研究所理事長・西村進さんの講演が続いた。玉岡かおるさんは鴨長明「方丈記」に記された地震のようすを例にとり、日本人の無常観や人間同士のつながりについて講演。

パネルディスカッションでは、元NHK解説主幹の斎藤宏保さんをコーディネーターに、温泉の専門家・西村進さんと、神戸出身の落語家・桂あやめさん、神戸市生活文化観光局・中瀬俊明さん、そして有馬温泉からの代表がパネリストとして参加。旅館協同組合理事長でねぎや陵楓閣の増田晴信さんは、パニック状態だった地震直後をへて「10



有馬小学校の児童の皆さんによる「しあわせ運べるように」

日後に復旧し、お客様から、10日振りにお風呂に入れたと喜びの声を聞いてとても嬉しかった」と当時を振り返った。有馬温泉では震災直後、浴場を開放した旅館・ホテルが多かった。桂あやめさんは「被災者は手足を伸ばしてお風呂に入りたかった。有馬が早くも戻ったことはとても嬉しいことだった」と振り返り、震災後の神戸でお金を使おう

有馬一望・歴史の名湯

HYOE  
兵衛  
向陽閣

TEL (078) 904-0501(代)  
URL <http://www.hyoe.co.jp>

有馬温泉 月光園

GEAKOEN  
KOROKAN

TEL (078) 903-2255  
姉妹旅館 游月の荘  
TEL (078) 904-0366

テニスでいい汗  
いい湯にとっぷり味に集う  
ARIMA

SUNNY SIDE UP  
TENNIS CLUB  
TEL (078) 903-1024



攝津有馬  
御所坊

TEL (078) 904-0551

静寂さにつまれた  
くつろぎの宿

国際観光旅館

94.2 94.5 94.6  
陵楓閣

TEL (078) 904-0675



温泉の専門家、行政、有馬温泉からの代表らが出席したパネルディスカッション

① あんしんで  
ま ったりと  
② り っちな気分で

(by 桂あやめ)

と、大阪の友達をたくさん連れて有馬に遊びにきたことなどを話した。

有馬は、地下から温泉が湧き出すという、もともとあまり安全とは言えない地域だ。「その特性を活かして、災害に強いまちづくりを」と西村進さん。行政の立場から出席した中瀬俊明さんは「観光地の中で、このようなシンポジウムを開

催したのは有馬だけ」と、取り組みに対して大きな評価が。それに対して増田晴信さんは「ただ開催しただけではだめ。開催すること

に、防災に対する具体的な行動案を提示していかねればならない」と、具体的な活動をしようと呼びかけた。観光客の立場から、桂あやめさんは「例えばお風呂に入っている地震がきたらどういふ行動をとればいいのか、どこへ行けばいいのか、などが旅館に明示してあれば、私たちも安心して泊まることができ



鴨長明「方丈記」を例にとり講演する玉岡かおるさん



有馬温泉防災安全の観光地宣言を行なう當谷会長



震災時のようすがパネルで紹介された

る」とアドバイスを。最後は、有馬温泉観光協会会長・當谷正幸さんから「有馬温泉防災安全の観光地宣言」が発表された。観光協会会員、住民などが一体となって、日頃から防災訓練や勉強会を開き、観光客の安全を最優先にした防災への取り組みを行なうことなどが宣言の内容。有馬には、独自の防災福祉コミュニティや、消火・防災用の器具の設置場所、避難場所などを記したマップも作られている。10年前の反省を生かし、防災に備えたまじめな取り組みが感じられるシンポジウムだった。

有馬での会食・宴会は懐石料理・ステーキが楽しめるいろいろ亭「楽」で!!  
(昼5000円～、夜8000円～)  
有馬温泉 政府登録国際観光旅館  
銀水荘別館

ちようらく  
**楽**

TEL (078) 904-3656(代)

自然の恵みを  
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

**古泉閣**

TEL (078) 904-0731

日本の伝統  
数寄屋造りの館

**欽山**

TEL (078) 904-0701

チェックイン13:00、アウト12:00  
ゆ〜くりとお過ごしいただけます。

雅ただようくつろぎの館

**中の坊珠苑**

TEL (078) 904-0781

会議セミナーからご家族づれまで  
**有馬グランドホテル**

TEL (078) 904-0181



# でん太の 教えてドクター

「デンタルエージ」ってなに？



お話／足立優歯科診療所 足立 優 院長

D r. さて、今日は、でん太の口の中が何才なのか検診してみようか。

でん太 えっ、ぼくは12才だけど、口の中も同じではないの。

D r. 多くの診療所では、患者さんの口の中の状態を年齢に換算して表わす「デンタルエージ」(特許3620585号)という方法を使っているんだよ。口の中が健康で何も問題がない状態を0才、すべての歯がなくなつて総入れ歯になつた状態を100才になるように作られた指標なんだ。虫歯や歯ぐきの病気があれば、その程度に応じて点数を加え、それを年齢で表わすんだよ。

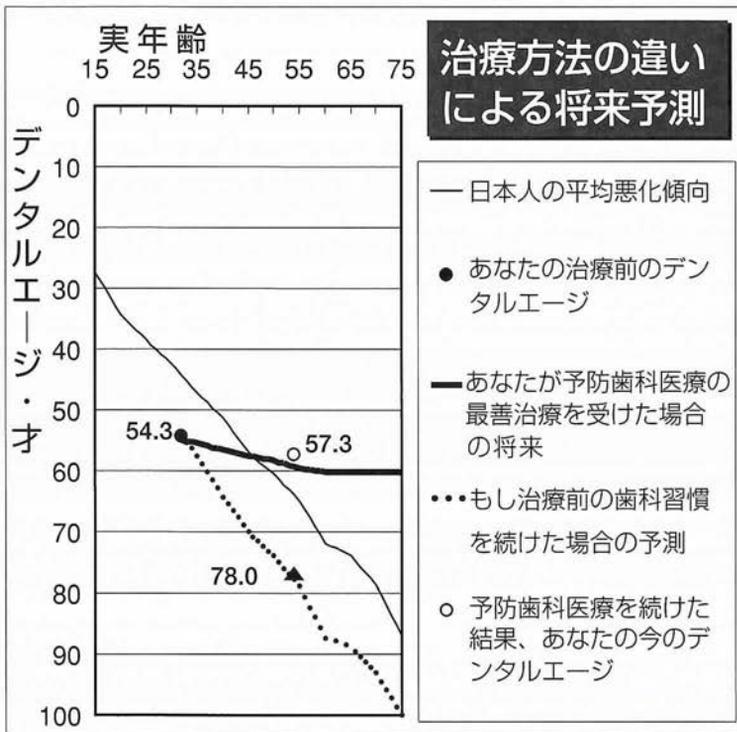
でん太 ぼくの口の中が何才なのかわかったら、どんな良いことがあるの。

D r. 「デンタルエージ」は、虫歯や歯ぐきの状態のほかに治療の状態も評価しているから、患者さんがお口全体としてどのくらい悪くなっているかをわかりやすく知ることができるんだ。また、今の状態をどんな方針で治療するかによって、将来自分の口がどうなるかを知ることができるんだ。痛い

ところをそのつど治療する方法と、お口全体を予防歯科医療の方針で治療するので、将来どんな様子になるかをシミュレーションできるんだよ。将来入れ歯になりたくないのなら、どんな健康管理をすればいいかがわかれば、でん太もうれしいよね。

でん太 うん。ドクターは、虫歯や口の中の病気をそのつど治療する方法ではなくて、なるべく自分の歯で一生食べていけるように「予防歯科医療」をすすめているよね。ドクターの言う治療方法の結果が、「デンタルエージ」で見るとわかりやすいのかな。

D r. 左のページを見てごらん。これは32才から治療を始めて、現在54才になっている人の「デンタルエージ」の経過実績。治療を始めた32才のとき、「デンタルエージ」は54.3才だった。このときは同じ年齢の人の平均よりも10才ほど「デンタルエージ」が大きかった。でも予防歯科医療の最善の治療で、「デンタルエージ」は57.3才を維持しているんだ。あの時のまま、その場だけ治すような健康管理を続けていたら「デンタルエージ」は



78.0才になる予測だったけど、既に平均よりも良くなっているよね。「デンタルエージ」はこんなふう

に、将来を予測したり、治療の実績を測ったりできるんだ。

でん太 なるほど、わかりやすいね。ドクターのところでは「予防歯科医療」を受けたら、いつまでも口の中が健康でいられるって、

きちんとデータに出ているんだものね。ほくも一生自分の歯でドングリをかじるために、がんばって治療を受けよう！

Dr. そうやって患者さんにする気を出してもらうためにも、この「デンタルエージ」は必要なんだよ。

### 足立 優歯科診療所

神戸市東灘区岡本1・3・33  
 TEL 078・411・0024 FAX 078・411・0056  
 mail.adachi@kba.att.ne.jp  
 http://ado.pr-business.net

※これからは患者の権利を守る予防歯科医療が主流となります。情報をお知りになりたい方は、Dr.足立までお問い合わせ下さい。

■足立 優（あだち まさる）1960年生まれ。大阪歯科大学卒業。1988年米国留学後、神戸市東灘区に足立 優歯科診療所開設。行動医学の概念を基盤とした自己決定に基づく予防管理中心型の歯科医療を展開する。

NPO法人  
 明日の歯科医療を創る会  
 POS 神戸相談室

神戸市中央区元町三宮町3-1-5  
 イソーラディ5F  
 TEL 078-332-4618  
 FAX 078-332-4617

アンコウ鍋を喰いに行こう  
読みかけの本を忘れるな



1



2

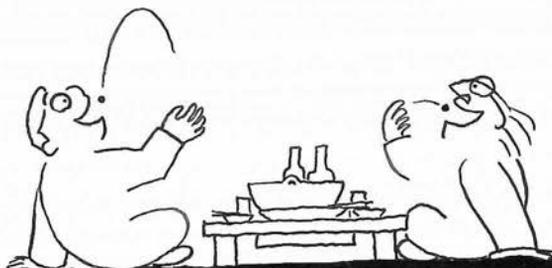
ああ 喰った 喰った



この薬をのめ

3

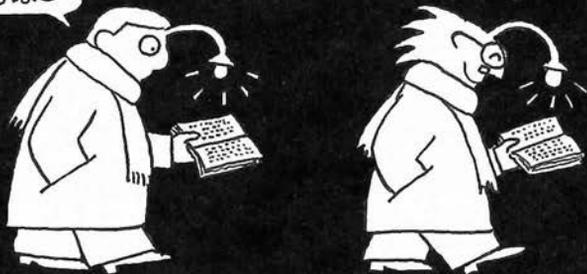
なんです? これ



豆電球と電池の  
エキスじゃ

4

なるほど



5

— 丁々 —

# イベント スケジュール 2005.02-03

## ART

### ドレスデン国立美術館展

#### —世界の鏡—

兵庫県立美術館

3/8(火)〜5/22(日)

10時〜18時(金土曜は20時)

月曜休館(3/21開館・翌日休館)

一般1400円 大高生900円

■問い合わせ/☎078-1262-0901

<http://www.artm.pref.hyogo.jp>

ヨハネス・フェルメール

〈窓辺で手紙を読む若い女〉



Photo:SKD,Hans-Peter Klut

ドイツ東部の古都ドレスデン。12の美術館からなる「ドレスデン国立美術館」の、その全貌を日本で初めて紹介する展覧会。

16世紀のザクセン公国の王室コレクションから19世紀のロマン派の誕生まで、

フェルメールの「窓辺で手紙を読む若い女」、レンブラントの「ガニユメデスの誘拐」をはじめとする名画、ザクセン最盛期の君主・アウグスト強王が熱愛した日本の伊万里焼とその影響を受けたマイセンの磁器、工芸品、宝飾品、衣装など約240点の多彩な芸術作品を紹介する。世界有数の美術コレクションを通じて、東西文明の交差点に位置するひとつの都市がいかにして各国の文化を映し出す「世界の鏡」となりえたのかをうかがい知ることができよう。※チケットプレゼントあり

### 神戸市立博物館 地域展

#### 震災から10年 発信する地域文化

神戸市立博物館

開催中/2/20(日)

10時〜17時 月曜休館

一般600円 高大生400円

■問い合わせ/☎078-1332-7810

<http://www.city.kobe.jp/cityoffice/>

57/museum

神戸市西区白水瓢塚古墳、

明石市藤江川添遺跡など、

震災後の発掘調査によって

出土した品とともに、震災

復興調査で新たに明らかに

なった兵庫の歴史を紹介す

る。あわせて、最近10年間

に発見された遺物などを紹介

する「発掘された日本列

島2004」も同時開催。

最近注目を集めた遺跡の優品に直接触れられるチャンス。

### 六甲山 氷の祭典

六甲ガーデンテラス

(六甲ケーブル上バス/有馬温泉/ロープウェイ六甲山頂駅徒歩)

2/11(祝)〜13(日)

10時〜20時(最終日17時)

一般500円 小人200円

■問い合わせ/☎078-1894-2071



大型の水彫刻作品も登場

氷の彫刻のプロたちが全国から集まって、震災10周年を機に、鎮魂と追悼の意を込めて、水彫刻コンテストを開催。約30体の水像が出品され、夜には作品をライトアップ。六甲山からの100万ドルの夜景とともに、山容を美しく彩る。「水の祭典」入場券と、六甲ケーブル・山上循環バスフリー券がセットになった割引乗車券も発売中)

## CINEMA

### 市民映画劇場2月例会

#### 「キッチン・ストーリー」

2/18(金)19(土)11時より4回上映

神戸市産業振興センター3階ホール

(ハーバード)

一般1500円(前売1300円)

中高生1300円  
小学生・身障者シニア1100円  
■問い合わせ/映画サクル協議会  
☎078-1331-8538  
<http://www.kobe-eisa.com>



北欧の素朴な人々を主人公にしたあたたかい映画

北欧から届いた、あたたかい映画で、心身をほぐしませんか。

#### 「キッチン・ストーリー」

は、2003年カンヌ映画祭など各国の映画祭で絶賛された。舞台は1950年代初頭、ノルウェーの田舎に住むひとり暮らしの老人のもとへ、スウェーデンの「家庭研究所」から中年の調査員がやってくる。調査員の目的は、独身男性の台所での行動を調べること。ふたりの間には、会話や交流をしてはいけないというルールがあったが、時とともに変化が訪れる…。ゆったりとした食事、心通わす会話、ユーモア：やさしい涙がこぼれるスローライフ・ストーリー。※チケットプレゼントあり

# ●ライブハウス・スケジュール 2月

## ■チキンジョージ

TEL.078-392-0146

<http://www.chicken-george.co.jp>

3 (木) 青木智仁セッション  
20 (日) 倭製ジェロニモ&ラペグリラエクスベリエンス

25 (金) ROSSO  
3/5 (土) DEPAPEPE  
12 (土) 甲斐よしひろ

## ■ピアジュリアン

TEL.078-391-8081

<http://www.pia-julien.com>

1 (火) 田原綾子(ソプラノ) 森玉美穂(p)  
2 (水) 小笠原薫(vn) 山内尚子(p)  
3 (木) 宮崎万里(vn) 植田浩徳(p)  
4 (金) 渡戸由希子(コントラバス) 林典子(p)  
6 (日) 山田雅子(vn) 藤江圭子(p)  
8 (火) 佐藤和宏(クラリネット) 大西隆弘(p)  
9 (水) 福島紀子(メソプラノ) 佐田めぐみ(p)  
10 (木) 西本淳(sax) 林典子(p)  
11 (金) 老田裕子(ソプラノ) 藤江圭子(p)  
13 (日) 奥野香織(p)  
15 (火) 武村美穂子(フルート) 藤澤優子(p)  
16 (水) 小林亜希子・梁洋子(ヴァイオリンデュオ) 林典子(p)  
17 (木) 尾崎比佐子(ソプラノ) 多久江里子(p)  
18 (金) 鈴木肇重子(p)  
19 (土) 荒田祐子(ソプラノ) 林典子(p)  
20 (日) 武田有賀(p)  
22 (火) 高橋崇子(チェロ) 山内尚子(p)  
23 (水) 藤澤優子企画  
24 (木) 藤井千賀(トランペット) 藤澤優子(p)  
25 (金) 吉岡一郎(sax) 大西隆弘(p)  
26 (土) 谷風佳孝(鍵盤ハーモニカ) 植田浩徳(p)

## ■Holly's

TEL.078-251-5147

<http://www.kobe-hollis.com>

1 (火) 小野田享子(p) 小野田栄司(クラリネット) 家口直哉(b) 平田哲也(dr)  
2 (水) TP三浦昌彦カルテット  
3 (木) 高山藤江(vo) 津嘉山梢(p) 近藤哲(b) 森本太郎(dr)  
4 (金) Yosimi(vo) 佐伯準一(p) 大森重彦(b) 森山和宏(dr)  
5 (土) 下城美佳(p) 他  
7 (月) 河野美紀(vo) 他  
8 (火) 長井美恵子(p) 他  
9 (水) 藤村麻紀(vo) 他  
10 (木) 山本蓉子(p) 他  
11 (金) 恵理(vo) 世古昌義(p) 小出泰正(b) 松井道朗(dr) 古野光典(p) 直塚正浩(sax)  
12 (土) RobinEve(尺八) Ronmason(g) DaveBoyle(tb) 小出泰正(b) 松井道朗(dr) 林幸(vo)  
14 (月) 澤井謙(sax) 田中敬子(p) 今田和也(b) 浅田謙(dr)  
15 (火) 高貴みな(vo) 他  
16 (水) 小林美鶴(vo) 松永誠祐(p)  
17 (木) 佐川あきこ(vo) 西田仁(p) 他  
18 (金) 辻佳幸(p) 他  
19 (土) 阿部泰子(vo)  
21 (月) 中崎あきこ(vo) 赤松真理(p)  
22 (火) 鈴木久美子(sax) 他  
23 (水) 大石まいこ(p) 他  
24 (木) セッションナイト ホスト辻佳幸トリオ  
25 (金) 中澤七恵(vo) 西田仁(p) 田中裕太(b) 恒川久徳(dr)  
26 (土) 荒畑佐千子(vo) 赤松真理

(p) 刀堀直和(b) 乾幾二(dr)  
28 (月) 雨宮千晶(vo) 他

## ■萬屋宗兵衛

TEL.078-332-1963

<http://www.soubei.net/>

5 (土) 谷五郎&コロージュ  
6 (日) 山田友和(Tp) 塚本浩哉(G)  
8 (火) 金子亜里紗(P) 小川高生(Ts) 藤田耕平(B) 横山和明(Ds)  
10 (木) 森本輝久(Pf) 河田夏樹(B) 今北有俊(Ds)  
11 (金) 平木かよ(P・Vo) 村尾浩史(Ds) 藤井邦彦(B)  
12 (土) ナンパオ(Pops,Club) SPIN(Soul,Funk)  
13 (日) Babe Magnetビッグバンド  
17 (木) 石原久美(Vo) 上田大輔(Ts) 上田成子(P) 沖田守男(B) 安達広之(Ds)  
18 (金) 洗足学園・大阪音大・卒業生ライブ  
19 (土) ジャズばらぐす  
22 (火) 1st「片岡の村」片岡明子(pf,etc) 他  
24 (木) オオタマサシ(G) 辻井裕之(B) 梶原大志郎(Ds) 後藤英見(Kb) (インストポップ)  
25 (金) 中村剛司(Vo)  
26 (土) 上田麻紀(Vo)  
27 (日) 1st「Take-4」 2nd「神戸大学猫研究会」  
2 (水) 辛島寿美子(Vo) トトリオ  
3 (木) Yoshika(Vo) トトリオ  
4 (金) 大越 理加(Vo) トトリオ  
5 (土) 新井 雅代(Vo)  
6 (日) ロイヤル・フラッシュジャズバンド  
7 (月) 古田 照美(Vo) トトリオ  
8 (火) 石本 優(Vo) トトリオ  
9 (水) 大越 理加(Vo) トトリオ  
10 (木) 大塚寿章トリオ+宮野 英子(Vo)  
11 (金) 北莊 桂子(Vo) トトリオ  
12 (土) 北莊 桂子(Vo) トトリオ  
13 (日) 鍋島直純 クワルテット+新井 雅代(Vo)  
14 (月) 那須 淳子(Vo) トトリオ  
15 (火) キャンディー・浅田(Vo) トトリオ  
16 (水) 新井 雅代(Vo) トトリオ  
17 (木) 古谷充クワルテット  
18 (金) ベティ鞍富(Vo) トトリオ  
19 (土) 辛島寿美子(Vo) トトリオ  
20 (金) 藤井 貞泰トリオ+北莊 桂子(Vo)  
21 (土) 西田あつ子(Vo) トトリオ  
22 (日) 山内 尚美(Vo) トトリオ  
23 (月) 岩宮美和+伊藤修二トリオ  
24 (火) 長谷川元伸クワルテット+大越 理加(Vo)  
25 (水) 新井 雅代(Vo) トトリオ  
26 (木) 大越 理加(Vo) トトリオ  
27 (金) グローバルジャズオーケストラ 小柳 淳子(Vo)  
28 (木) ボンビ柿本(Vo) トトリオ

## ■SONE

TEL.078-221-7009

<http://kobe-sona.com>

1 (火) 北莊 桂子(Vo) トトリオ

2 (水) 辛島寿美子(Vo) トトリオ  
3 (木) Yoshika(Vo) トトリオ  
4 (金) 大越 理加(Vo) トトリオ  
5 (土) 新井 雅代(Vo)  
6 (日) ロイヤル・フラッシュジャズバンド  
7 (月) 古田 照美(Vo) トトリオ  
8 (火) 石本 優(Vo) トトリオ  
9 (水) 大越 理加(Vo) トトリオ  
10 (木) 大塚寿章トリオ+宮野 英子(Vo)  
11 (金) 北莊 桂子(Vo) トトリオ  
12 (土) 北莊 桂子(Vo) トトリオ  
13 (日) 鍋島直純 クワルテット+新井 雅代(Vo)  
14 (月) 那須 淳子(Vo) トトリオ  
15 (火) キャンディー・浅田(Vo) トトリオ  
16 (水) 新井 雅代(Vo) トトリオ  
17 (木) 古谷充クワルテット  
18 (金) ベティ鞍富(Vo) トトリオ  
19 (土) 辛島寿美子(Vo) トトリオ  
20 (金) 藤井 貞泰トリオ+北莊 桂子(Vo)  
21 (土) 西田あつ子(Vo) トトリオ  
22 (日) 山内 尚美(Vo) トトリオ  
23 (月) 岩宮美和+伊藤修二トリオ  
24 (火) 長谷川元伸クワルテット+大越 理加(Vo)  
25 (水) 新井 雅代(Vo) トトリオ  
26 (木) 大越 理加(Vo) トトリオ  
27 (金) グローバルジャズオーケストラ 小柳 淳子(Vo)  
28 (木) ボンビ柿本(Vo) トトリオ

## ■Maiden Voyage

TEL.078-805-0809

<http://www.koyo.net/maiden-voyage>

2 (水) JAM JAM JAM

23 (水) Jam Session ホスト須藤雅彦(g)

## 愛読者チケット

### プレゼント

●兵庫県立美術館「ドレステン国立美術館展」(3/8~5/22) ペア5組  
●市民映画劇場2月例会「キッテン・ストーリー」(2/18・19) ペア2組

### ●映画館招待券

★バルシネマレインこうえん(湊川公園)2名  
1/29~2/8「ラヴァーズ」  
「インファンアルアフェア2」  
2/9~18小津安二郎特集「早春」  
「長屋紳士録」  
2/19~3/1「2046」  
「天使の涙」  
★シネモザイク(ハーバーランド)2名  
上映中 2/10「ターミナル」  
2/15~2/4「東京タワー」  
2/22~2/4「レイクサイドマターキー」  
2/29「オペラ座の怪人」  
2/2~5「3/4」  
「着信アリ2」

### ※応募方法

ハガキがフックシミリで①希望するチケット(劇場)②住所・氏名③「月刊神戸フ子震災10年記念号」の感想を書いて左記の住所までお送りください

〒650-0002 神戸市中央区三宮町2-11-1 センタープラザ西館516「月刊神戸フ子震災10年記念号」を発行する事務局「チケットプレゼント」係

FAX 078-332-11552

# 海船港

奄美大島・屋久島を訪ねるクルーズ乗船記  
文・写真 上川庄二郎



■かみかわ しやうじろう  
1935年生まれ、神戸大学卒。  
神戸市に入り、空港対策室長、消防局長を経て定年退職。現在、大阪産業大学非常勤講師。



奄美大島・名瀬港に停泊するつぼん丸

## 【第一回神戸っ子クルーズ】

今売れっ子の作家、玉岡かおるさんと航く、秋の奄美大島・屋久島クルーズに参加しませんか。こんな触れ込みが「月刊神戸っ子」の紙面を賑わしたのは、昨年の9月号のことだった。

先に、昨年7月19日の「海の日」に神戸港から大阪港まで、神戸っ子に人気の田辺眞人先生のお話を聞きながらの4時間余り。神戸市企画の市民クルーズと併せ、二百数十名がデイクルーズを楽しんだ。今回は、4泊5日のやや本格的なクルーズであると同時に、行き先はよし、加えて、呉越同舟ならぬ売れっ子作家と同船してのクルーズだけにいやが上にも盛り上がったのは言うまでもない。

名付けて、第一回神戸っ子クルーズ（18名参加）。神戸市企画の市民クルーズと併せ30名が乗船。全体では、二百九十名というから、その10%強ということになる。地域別分布では、兵庫県下から28%（内神戸市16%）、大阪府下から20%、京都府他の近畿圏が13%、その他40%（内東京圏15%）の構成である。近畿圏としては60%ということになる。神戸港をクルーズ船の発着港として、もっと積極的に売り出してゆこうという考えの下に始めた企画としては、まずまずの出だしたといったもよい。私は、この取材の他に、今回訪ねる奄美大島・屋久島の関係市長、町長さん方にお会いして、神戸空港の二〇〇六年春開港を契機に、海と空の両面から交流を深めたいという神戸市からの要請も携えてゆくことになっているから少々責任も重く感じて乗船している。

## 【神戸港出航に先立って】

10月24日の乗船は17時だが、船は13時に神戸港に入港。これからの4時間、乗船までの間を利用して客船とクルーズの魅力をPRしようとして、日本外航客船協会や神戸市客船誘致協会などの企画で、「クルーズ文化講演会」が船内で行なわれた。

世界のソムリエ・田崎真也さんは、船旅の楽しみ方として、何にもしないで過ごすのが休みの醍醐味。



ドルフィンズの演奏で楽しむ出航のひと時



来島海峡大橋に差ししかかるにっぽん丸



玉岡かおるさんの楽しいトーク

クルーズは、その意味では最高の休み時間の過ごし方だと言って、船旅をアピール。船乗りさんになることが夢だったという田崎さんらしいお話。次いで中山船長は、美しい港の条件は背後の景色の美しいことだ。ケープタウンは思い出に残る世界でも最高の港だと思うと語った後、神戸も緑の多い六甲山があつて美しい港だ、と持ち上げた。お世辞でもない、嬉しい発言。

講演の後、神戸市からのワインの贈り物や船長からのプレゼントが抽選で参加者に配られるなど、盛り上がった中でお開きとなり、後は三三五五船内見学を楽しんだ。このような催しをできるだけ多く持つて、クルーズの普及を勧めて欲しいものである。

#### 【初めての夜を楽しむ】

乗船早々、第一夜のディナータイム。船に乗れば、何と言つても食事である。この良し悪しがそのクルーズの評価を決めるといつても過言ではない。取材で乗船された神戸新聞の伊丹記者と一緒してクルーズ談義をしながらのひと時。適度にアルコールも回つて、まずはいい気分ですごす。周囲を見渡しても、それぞれに談笑で弾んでいる。この船旅は、まず成功間違いなし、と言いたいところだったが、台風24号が台湾近辺に停滞していて、隙あらば南西諸島を狙う態勢とか、今年はほとんど台風の当たり年なのか、若干心配なところ。船長からも運航スケジ

ユールの変更可能性ありとのメッセージ。

21時、乗船客たちは、銅鑼の音とともにデッキに勢揃い。フイリビーノのバンド・ドルフィンズでいやが上にも盛り上がる。いろいろけちを付けられていた神戸港第四突堤だが、ターミナルだけを捉えてみれば、国内ではびかーである。惜しむらくはロケーションが悪いことに尽きる。ここは中突堤が早く整備されることを期待しておこう。

さてさて忙しい。次はエンターテイナーの演奏を楽しむもの、ダンスタイムを楽しむもの、カジノに熱中するものとそれぞれに更け行く夜を過ごす。

#### 【瀬戸内の朝・来島海峡大橋】

瀬戸内はできれば明るい時間帯にクルーズしたいもの。しかし、神戸港を昨夜遅く出航したこともあり、残念ながら瀬戸大橋はまだ闇の中。夜明けは来島海峡の手前になる。朝食もそこにデッキに出てみる。

潮の流れが速く渦巻いているのがよく分かる。少しかすんだ空模様の中を、船は14ノットで通過する。道路単独橋なのでスレンダーで美しい。ブリッジからの「中山船長おはようトーク」を聞きながら橋をくぐる。

#### 【玉岡かおるさんのトーク】

お昼前のひと時、玉岡かおるさんが「文学でめぐる世界クルーズ」と題して講演。楽しい語り口でホ

ールを埋め尽くした聴衆を魅了するに十分の内容。さすがに「月刊神戸っ子」ご推薦の売れっ子作家ではある。

### 【船は太平洋へ】

佐田岬を抜けるといよいよ太平洋だ。白波こそ立たないものの、若干のローリングが始まった。台風情報とはフロントに行くと、台湾付近から進路を東に振り、明日夕刻には奄美大島に接近するというではないか。とすると、この船は、奄美大島で足止めということになる。それを避けるために船脚を速めて、朝早くに名瀬港に入港することにするという。それから先は、台風の進み具合に合わせて考えるということだ。出航時の心配がその通りになりそうである。

だからといって、そんな心配ばかりしていても仕方がない、そこは船に任せてケセラセラだ。今夜は船長主催のカクテル・パーティー。それに備え昼寝でもして3時になったら大浴場にも行くでしょう。

終日航海の続く日は、船内での催しが多い。おはよう体操に始まって、船内クイズ大会、デッキでは輪投げ大会、毎夜のダンスタイムに備えてのソシアルダンス教室、大島紬の展示と着付け体験、講演「屋久島の自然」、ブリッジやエンジンルームの見学、マジック教室。ディナーの後は、メインショー、カジノ、ナイトシアター、ソシアルダンスタイム。と、とてもとても全部に顔出しなんかできそうにない。

### 【船長主催カクテル・パーティー】

18時からは船長主催のカクテル・パーティー。中山船長の歓迎挨拶に始まり、専属バンド・ドルフィンの演奏で大いに盛り上がった。ところが、明日の午後には奄美に台風が接近するとあって、今後の全ての予定を変更するという船長の言葉。結局、奄美滞在は、午前中のみとなり、慌しい奄美訪問となりそうだ。続いて、ウエルカム・ディナー。今夜は、玉岡かおるさんがテーブルがご一緒とあって、神戸



船長主催のカクテルパーティー



パーティーでのとりどりのカクテル

新聞の伊丹記者らと昨夜に続くクルーズ談義を楽しませてもらった。以後は、明朝に備えて早く休むことにする。

### 【奄美大島での歓迎行事】

昨夜は台風の影響が心配されたが、船は嘘のようにまったく揺れもなく静かな航海だった。朝7時、につぼ丸は奄美大島・名瀬港に入港。

8時、名瀬市からは出張中の市長に代わって浜田助役以下の皆さんがわれわれの歓迎のため船に訪ねて来られご挨拶。本来なら今夜出航前に予定されていた歓迎行事を朝に変更し、奄美の鳥唄を披露しての熱烈歓迎。心のこもったおもてなしは、さすがに胸に滲みる。

### 【名瀬市役所表敬】

10時、市役所に浜田助役を表敬。神戸市企画の市民クルーズ並びに「月刊神戸っ子」企画の神戸っ子クルーズで表敬した旨告げるとともに、神戸港発着のクルーズを今まで以上に活発にしたいこと、2006年2月には神戸空港が開港するので、ぜひとも神戸―奄美大島・屋久島への定期便を開設し、海・空両面からの交流をもっと深めてゆきましようと話した。浜田助役は、私どもかねてから大阪便を2便体制に戻すよう航空会社に申し入れていたが、これからは共同して当たることにしましょう、と提案された。

充実した歓談の後、限られた時間を珊瑚礁の美しい大浜海浜公園に案内していただいた。深謝。

## 【台風24号の渦中に巻き込まれたにつぼん丸】

12時30分、につぼん丸は台風を避けて予定より10時間も早い出航と相成った。船長の談話によると、東シナ海に出た船は、白波の立つ海原を一路鹿児島湾へと急ぐという。こちらはそんなことにはお構いなし。競馬ゲームを楽しんだり、ティータイムを寛いだりと至ってのんびりなもの。

船は、最初のうちこそ台風の追い風に押されて自力以上に快走していたが、熱帯低気圧に落ちぶれたとはいえ、その速度にはかなわな。次第に追いつかれ遂にその渦中に巻き込まれてしまったのだから大変。時化で大揺れの中をおよそ4〜5時間、難行苦行。乗船客の皆さんもデイナーには半分ぐらいしか出てこれない有様。しかし、夜も更けてくるとその台風崩れの熱低とも遠ざかり波も次第に治まってきた。こうなると人間って何て気ままなもの、カジノに行ってみると大勢来てる来てる。結局タイムオーバーまで遊ばせてもらってちよっぴり稼がせていただき、明日の軍資金を蓄えて自室に帰る。

## 【屋久島入港断念、鹿児島港に避難入港】

このようなわけで、最初に案じられたとおり、結局屋久島には寄航できず、約束していた屋久町の日高町長には会えずじまい。もつとも、町長の方も出張先の鹿児島から帰れないので助役で対応させていただきます、との連絡が船に入り、お互い行き違いということになってしまった。楽しみにしていた日高町長との三年ぶりの再会を果たせず、空港開港を契機

に神戸市との海と空からの一層の交流を深めたいという意思の伝達もできずじまい。残念だが、後日書面を認めることにしよう。

乗船客は、屋久島に代えて鹿児島観光を楽しむことになったが、船長さんも抜かりがない。「皆さん、屋久島は、次の機会に大切に託しておきましょう。そして、再びこの船上でお会いしましょう」と、フエアウエル・パティーデーでのお詫びともお礼ともつかないご挨拶。

## 【無事、神戸港に帰還】

いろいろとハプニングの続いたクルーズだったが、最初から台風24号目がけての出航だっただけに、よくまあ無事に、そして曲がりなりにも皆さん満足して帰港できたものと感じ入っている。しかし、考えようによっては、充実した？船内生活というクルーズの別の楽しみも味わえたのかもしれない。恐らく、皆さんは、これに懲りずリビーターになれるのではないかとというのが、クルーズを終えての私の感想である。

## 【次回市民クルーズ・神戸っ子クルーズの予告】

さしずめ、今年3月23〜27日には、NHKの大河ドラマ「義経」にあやかった春の瀬戸内紀行―源平ゆかりの地を訪ねて―が予定されている。このクルーズでは、「月刊神戸っ子」ご推薦の上原まりさんの琵琶演奏が楽しめるのもお見逃しなく。

詳しくは、本誌120ページをご覧ください。



名瀬市浜田助役の歓迎挨拶



名瀬市の歓迎行事・鳥唄の演奏



名瀬市の美しい大浜海浜公園

■エッセー／コーヒークップの耳

# 洗人さん

出石 アカル

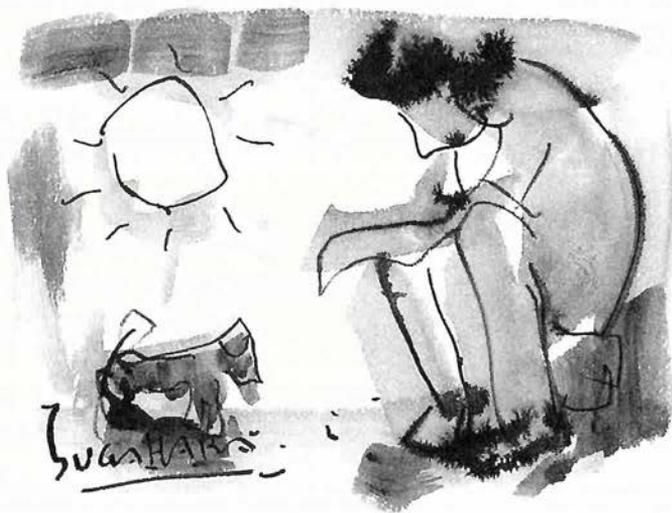
絵・菅原洗人

題字・六車明峰

「断崖の洞穴に住んでいたの。目の前には太平洋の大海原。入り口にむしろを垂らしてワラや海草を敷いた寢床に横になるとね、のびのびとしたもんだった。波の音が子守歌みたいでね。朝は海水で顔を洗って歯を磨くんだ。岩場のカニに、お早うさんと声をかけながらね」

この欄の絵を描いて下さっている、神戸垂水の洋画家、菅原洗人さん82歳。

サンタクロースのような白い髭。少し目尻の下がった限りなく優しい眼差し。わたしが洗人さんの絵と人柄にひかれてファンになってから、もう



40年近くになるだろうか。

生まれは山形県。12歳の時に家を出て、以来、度々職を変えながら放浪生活に明け暮れる。

大工見習い、荷役、貨物船員、印刷工、鉄工所  
工具などなど。戦後はサンドイッチマンや、リヤ  
カーを利用しての飴売りまでも。数え上げれば切  
りがない。

「放浪の途中で、母が鉛筆なめなめ書いた手紙を  
くれたことがあったの。次々と仕事を変えるほく  
のことを心配してるんだ。それを読むと涙がにじ  
んでくるんだけど、性格はどうしようもなくね」

しかし戦争が洗人さんを故郷へ帰す。軍隊に入るが結核になり、何度も咯血して死を覚悟する。そして終戦。

「食べ物がなくね。だけど赤蛙がいいと聞いたから、見つけ次第捕まえて食べたの。皮をむいて焼いて、醤油をつけて毎日のように食べたの。金網の上で焼くと、筋肉が収縮して、手を合わせて拝んでるように見えるんだ。ぼくも手を合わせて食べさせてもらったの」

そうするうちに洗人さん、また放浪の虫が動きはじめて、半病人のまま旅に出てしまう。まさに死出の旅である。

とにかく暖かい所へと向かうのだが、旅をするにも先立つものは何とやら。

「裕福そうな家へ行って、『旅をしながら絵の勉強をしています。その費用のために、もし気に入った絵があつたらお買い上げください』と言って、一枚二十円で買ってもらったの。うれしかったねえ。初めは勇気がいったけど。だけどそれだけでは足りなくて、自転車の名前書きもやったんだ。泥よけを短く切つたのに見本を書いて、それを見せて注文を取つてね。これは五十円もらえたんだ。絵よりも高かったのよ」

そんなことをしながら洗人さん、流れ流れて南紀勝浦にたどり着いて、冒頭の洞穴ぐらしの話になるのである。

近在の町に絵を売りに歩いては洞穴へ戻って寝るといふ生活をするのだが、やがてまた次の場所を求めて旅立ってしまう。

「古道具屋で錆びたリヤカーを買って、その上に拾い集めた板切れで小屋を作つたの。屋根には、これも拾つたゴム羽を張って雨漏りしないようにしてね。自分の家が持てて、しかもどこへでも行けて、好きな場所で寝られるんだと思うと、ホントうれしかったよ。今から思うと、まるでカタツムリだったけどね」

神戸にたどり着いたのが昭和28年秋。

「いろんな人に世話になって、リヤカーの家を落ち着けたのが、偶然にもあの小磯良平さんの屋敷跡の空き地だったの。そこを世話してくれた人が『早くちゃんとした家に住んで絵が描けたらいいのにね』と言ってくれたのが今も忘れられない」

その後たゆまぬ努力を重ねて、毎年のようにフランスへ絵の修行に。やがてそのフランスで、度々の入選を果たし、ついには平成二年、栄えある「ドユーヴィル国際グランプリ」を受賞するに至る。

それも、あの若き日の辛酸の体験があつたからではないだろうか。今や神戸を代表する画家になられてわたしはうれしくて仕方がない。

その洗人さんがこの度、自伝『四角い太陽』（発行所・ギヤラリー島田）を出版された。自らを飾らず、赤裸々に綴られた文章は、わたしのこの小文より、十倍も百倍もおもしろい。

いずし・あかる 43年兵庫県生まれ。「風媒花」「火曜日」同人。兵庫県現代詩協会会員。詩集「コーヒーカーの耳」（編集工房ノア刊）にて、2002年度第31回ブルーメール賞文学部門受賞。

●月刊神戸っ子震災10年記念特集③

# 震災10年100字メッセージ

(順不同・敬称略)

西年(震災10年)は飛躍の年

林同春(神戸華僑総会名誉会長)

金鶏報暁

(ジンチーパオシャオ)

金鶏は、暁に時を報じることから、中国では、西の年は明るくなり、好機をもたらすとされていきます。今年は震災10周年の西年です。この一年が私達にとって明るく、飛躍の年になることを信じます。

生きていることに感謝

中村節(月刊神戸っ子OB)

形あるものは風化して土に還りますが、心の内にあるものは、刻が経つにつれ、明確な存在になってゆきます。

今、生きて在る事に感謝して、己も他も大切に接してゆきたいと、しみじみ思う今日比頃です。

洗練された神戸人の智と努力

柳本薫(ブティック小公女)

神戸の町は美しい不死鳥だ。その昔の大水害、大空襲、そして大震災と幾度かの壊滅的な災害から立ち上り、以前にも増す魅力ある街になってゆく。しかしそれには洗練された神戸人の、智と、精神と、必死の努力が有る事を私達は忘れてはなりません。10年を経た今、私は「神戸っ子」で良かった！

…と誇りに感じて居ります。

元気な神戸を取り戻そう

上川庄二郎(大学講師)

悪夢のようなあの一日は終生忘れることはないだろう。

しかし、何時までも引きずってはおられない。神戸に早く元気を取り戻そう。

そのためにも、月刊神戸っ子の火を消してはならない。

人と自然と科学の融合忘れず

大西節子(デザイナ―)

久しぶりに海鳴りに目を覚ます。海の開発が進むにつれこの冬の風物詩は耳にしなくなった。数分後大きなゆれが来た。つり天井がおちるー神戸がはずれるとひらひらと庭に雪が舞う。人と自然と科学の融合は忘れられてはならないーと瞬時の思いであった。

10年目にも「ファイト」の灯

西本克彦(神戸テラス神戸代表取締役社長)

光を失った町に客室の明かりで「ファイト」の文字を灯し市民にエールを送った10年前。

今年再び夜空に灯した「ファイト」の文字には互いに支えあった当時の気持ちを忘れずこれからもがんばろうという思いを込めました。



世界から「再生へのメッセージ」  
木村重信（兵庫県立美術館館長）  
震災復興10周年記念国際公募展  
「兵庫国際絵画コンペティション」  
が1月17日～2月20日に兵庫県立  
美術館で催される。81カ国から約  
8000点の応募があり、101  
点が入選した。世界の人々の「再  
生へのメッセージ」である。

毎朝五時四十六分に梵鐘を  
宇賀芳樹（浄徳寺住職）

鎮魂と震災を風化させないよう  
に毎朝五時四十六分梵鐘を撞いて  
九年。あの年の一月二十日、須磨  
公民館で五十有餘の御遺体に経を  
捧げたことが、脳裏から離れたこ  
とはありません。特に母子抱き合  
った姿は…。

感謝の気持ち忘れず地域貢献を

中内仁（神戸ポートピアホテル代表取締役社長）

10年前のあの日、現実でない幻  
想の世界にいるようでした。今日  
ここに至る迄支えて下さった人と  
街に感謝しています。感謝の心を  
忘れずに改めて社員一同と心を合  
わせて地域に貢献する事業を推進  
して参りたいと思います。

鯉川山手の街づくりをみんなで  
天野桂子（珈琲の店なでしこ）

1月の31日からお店を再開して  
お客さまに喜んでいただきました。

平成13年9月から、鯉川山手街  
づくり会を立ちあげて、みなさん  
と一緒に活性化のために頑張っ  
ています。

ポントベルレのイベントも4月  
23日（土）に。

戦友の輪（和）を全国で

宮田達夫（ジャーナリスト）

戦友だよね、戦友は何も言わな  
くても互に判るんだよな。地震  
を経験した者同士の会話は、それ  
程ツールカーで理解の早いもの。連  
帯感が一致してしまう程の出来事  
だった。

この戦友が全国各地で手を結べ  
ば強力な輪（和）が生まれる。

震災10年を経た社会の厳しさ

東村衛（社会福祉法人二人同心会理事長）

月刊神戸っ子が事実上の倒産の  
憂き目をみた。震災10年を経た社  
会の現実の厳しさの一面をみた思  
いだ。

小泉さんの気持ちになり関係者の  
意見の是非はともかく、この度、  
石阪先生を代表者として本が発行  
されたことは何よりだったと思う。

言葉は光です

鈴木漠（詩人）

言葉は 例えは

鳩が啣くわえて帰ってくる

オリーブの若葉です

言葉は

光の一形態

言葉の復活から

すべての再生は

始まります

震災祈念のアートをベネチアで

嶋本昭三（アーティスト）

昨年ベネチアで震災祈念の「女  
拓」を行い、ベネチアビエンナー  
レの殿堂美術館の所蔵となりました。

2005年はビエンナーレに先  
んじて現地でヘリコプターが提供  
され、多くの裸の女性と共に震災  
祈念のアートを行います。

地震の絆

三条杜夫（放送作家）

震災ドキュメント「いのち結ん  
で」を出版した私が、耐震住宅の  
考案者・大出正廣氏と巡り会い、  
サントレビで「オーシャンホーム」

の耐震重量鉄骨住宅の普及にひと  
役買う事となったのも地震の絆？

神戸は昔の恋人

宮川光世（月刊神戸っ子OB）

かつて歩き回って飲み回って、

いっぱい遊び回った美しい街の無

残な姿は哀しかった。失恋に似た

気分で沖繩移住を決心。10年目の

今、帰る度に阪神間で三宮で出会

う景色は、昔の恋人がいまだに若

く素敵でいるのを見る思い。うれ

しい、ありがとう。

威力発揮した開港場気質

米花稔（神戸大学名誉教授）

神戸は開港以来、お互い知らぬ  
人々が分野を問わずなじみになり  
協力する土地柄で、今度の震災時  
もそのことが復興再建に威力を発  
揮しました。

震災後10年が更にこの特性を深  
めつつあり頼もしい次第です。

感謝の日々、頑張ります。

枚田佳子（G・ART DESIGN HOUSE）

忘れられない表現できない震災。

あの時ショベルカーの5m上私の  
着物が舞々上り、思わず長年想い  
出の家に両手を合せ御礼を申しま  
した。多大な心温まる御見舞い、  
勇氣、愛情と希望を沢山頂き、感  
謝の日々頑張ります。



10回目の神戸ルミナリエ。東遊園地にて

世界は広い、思い切り大胆に

瀬戸本淳(瀬戸本淳建築研究室代表取締役)

魔法の言葉できつとくまうく  
—何とかなるさ、とにかくやってみよう、楽しみだ、世界は広い、思いきり大胆に、光り輝いて、イキイキして、あたたかい、おいしい、おもしろい、いいね、よかつたね、ありがとう。

これからは文化と精神の復興を

川田敦子(画家・CG作家)

私たちの未来は、世界中の人が見守っています。震災10年、そろそろソフトへの発想転換期ではないでしょうか。文化や精神の復興と貢献があつてこそ、神戸が国際都市として、本当に蘇るときだと思います。

今、ルミナリエの灯は誇らしげに

柿本輝子(CSの会)

震災のすぐ後だった。神戸の沖から見た街は弱い明りで、まるで闇そのものだった。辛さと一緒に九州に向う者にとつてなお切なく、霞んで見え無くなった。今、ルミナリエの灯は誇らしげに輝いている、人々の強さと夢で…。

新しい10年に向って。

今西恭晟（今西建設㈱代表取締役）

「創造的復興をめざして」震災から早や10年。当時兵庫県宅建協会の会長として6千社の会員の安否に役員共々走り回った。その道中の都市崩壊の凄まじさは今も脳裏を離れない。新しい10年へ向かって頑張れ神戸っ子。

やさしさといたわりの心信じて

小島知光（写真家）

助け合い、心の繋がりを感じ力が湧き、人は皆やさしさといたわりの心を持っていると信じられたあの時。平穏な日々を過ごす今、時折、整備された町並みの中にぽっかりとあるサラ地に似た気持がする。人・心・街、忘れはしない。

神戸は元氣！負けません

高砂京子（書道家）

私の書画で伝えたいのは活力と楽しさ。震災以来、発表作はすべて神戸からのメッセージ「神戸は元氣！負けません」。

生と死、愛と哀、喜と悲、いのちの尊さを教えてくれた犠牲者の思いを決して風化させてはならない。

あの世の靈に守られて

井上仁性（大龍寺住職）

私は小泉さんの指導の下、メリケン地蔵と震災犠牲者の靈をおまつりさせて頂きました。又一・一七の灯明を一年間寺に預り、先人の愛情、あの世の靈の永久の知恵に守られ大丈夫生き抜きましょう。

小泉さんの神戸っ子の新展開を期待す。

新たな愛を得る事もできた

井上和世（ソプラノ歌手）

自然の力の前には何と人間は無力なことか。たくさんの大切な命、美しい街であった神戸を失った代償に震災を乗り越えて新たな愛を得る事もできました。神戸に生まれて幸せです。

新旧の絆大切に

河合純子

（日本カナダ会事務局長 移情閣コーラス代表）

「人の輪は何よりの財産」を motto に人生を歩んできた私にとって、震災を通して深められた新旧の絆を大切に、今後も「人と人のふれあい」の要として楽しい交流の時と場の提供でお役に立って行くつもりです。

人間の勇氣と素晴らしさ

平田郁（洋画家）

震災は、個人と社会に大きな傷を残した。自然の驚異の前には、人間は無力であった。10年後の神戸を誰が想像し得たであろうか？この出来事は、人間の勇氣、素晴らしさを云わでものことと教えてくれている。

生かされていることへの感謝と愛

谷口享子（有ファイザーメード代表取締役）

震災が教えてくれた事。命の重み。別れの苦しみ。自然への畏敬の念。生かされている事への感謝。そして愛。

神戸と共に歩んで来た月刊神戸っ子。読者の愛に支えられて元氣を出して欲しい。この神戸の街と共に！！

リュックを使って下さい

生方笙子（神戸っ子倶楽部）

老いた母を姉に預け、荷物を持って線路を歩いてた時、見知らぬ方から「このリュック使して下さい。」と差し出され、その後ずっと年賀状のやりとりして10年。今もそのリュックを大事に使ってます。その恩は忘れません。



1998年4月震災後完成した明石海峡大橋

ゼロからの出発

宮園貴江（総合美容すみれ社長）

失われたものは大きい。自宅ビル全壊。夫はかたむいたビルの階段から落ち頭を打ったその後脳こうそくとなる。私は5階からカーテンロープで脱出。従業員は神戸を去って行った。ゼロからの出発。歳も忘れ前進あるのみ

力合せて尊い命を救う

小野真須美（七宝作家）

私は10年前の地震で強く思った事は、今迄経験した事のない試練に出会って、地域の人達がお互いに力を合わせて動き、尊い命を救った事です。情報がない中で一人一人が何が一番大切なのかを考え自立して、行動出来た事が嬉しい。

美しい文化の香りいっぱい

佐伯民江（文学博士・大手前大学講師）

愛着あふれる神戸っ子……ネットもITも身近になかった頃、まだ無名の主婦だった頃、初めて載せてもらった時の感動を今も忘れられない。美しい、文化の香りいっぱい。貴誌に頑張るぞーと意欲がいっぱい湧いた。

今も思いが頭にうかぶ

西村雲華(佳生流家元)

飛び起きた後を見ると枕の上に映写機が棚から落ちていた事、花器が百数十点壊れた事、ネパールをいける個展ができず、一ヶ月延期したこと、その他諸行事中止、小さいことながら十年経った今も思いが頭にうかぶ。

地球人として謙虚でありたい

山田芳信(グラフィックデザイナー)

宇宙の片隅で生を営み続ける地球人として、神の怒りに触れることなく、常に自然に迷惑をかけぬよう謙虚でありたい。人間は過ちを犯す。だから素直に謝り直して行く。その積み重ねが自分を変え、そして国や社会を変えて行く。

人々に夢と希望を与える場を

樽家泰子(下マティス・ニンジンセンター神戸)

この震災で自宅は全壊。学習塾の教室も倒壊寸前、絶望的でした。それが先生方の励ましと協力で一ヶ月で再開。当センター開設のエネルギーは、こんな人との繋がりででした。

人々に夢と希望を与える場として活動していきます。

すべて失って初めて皆が理解する

石原暁美(デザイナー)

これからの人生を考えると、あの日とあの日からの10年を考えれば、何でも乗りこえてゆける気がする。人との信頼感や協力、奉仕といった最も人間的な大切な事をものを失ってはじめて皆が理解できた様に思う。

震災、空襲、水害に負けず

藤田稔(株)フットテクノ社長)

一九二一年に建設された本社ビルは、大正モダニズムのはしりの洋風建築で、元町通5丁目に風格ある姿で親しまれ、昨年6月国の有形文化財に指定されました。

震災にもめげず、大正・昭和・平成と生きぬいた元気で優雅な神戸っ子ハイカラビルです。

また陽は昇る

上島達司(UCCT上島珈琲代表取締役社長)

地震、台風、洪水などの天災、そして敗戦、オイルショック、ドルショック、バブル崩壊、形あるものは減せざるべけんや。しかし、幾多の困難を乗り越えて陽はまた昇る。10年前の一瞬の無残を目の当たりにし、諸行無常を感じるとともに、立ち直る精神こそ大切であると体感しています。

より魅力ある町に再生を

佐藤悦枝(創花人)

生れ育った神戸。神戸にしかなかったお店や、おもいで場所がなくなつて、町の景色がどんどんかわつてゆく事がかなしい、あたらしい神戸が神戸っ子達の力でより魅力のある町に再生される事を願っています。

防災≠忘災

中野友史

(社)神戸青年会議所理事/専務

被災経験は思い出さなくてもいいことかもしれません。しかし備えによつて被害を最小限に食い止めることも可能です。あの大震災を経験した神戸だからこそ、常に「忘れない」で備える気持ちを持つて11年目を迎えるまじぶりを考えましょう。

初鶏や地震10年明るく神戸  
榎本純子(金庫診断士/俳人)

生かされしこの身に聖夜ルミナリエ/あーしんと吐息の神戸年詰まる/初鶏や地震10年明るく神戸。

17音は神戸に生まれ育つた私のリズムです。1月17日、神戸に架かった美しい虹へ、鎮魂と復興を祈りました。

街を元気にする会社を創ろう

杉本悟(㈱ドリムアンドモア代表取締役)

震災後、街を元気にすることを業とする会社を創ろう！神戸の地で起業しました。最近、世の中も私達の呼び掛けに答え始めてくれる様な気がします。

今後也更に夢を持って、街を元気にしていける様、邁進していきます。

瓦礫の中から芽吹いた雑草の力

吉田泰巳(嵯峨御流神戸司所)

高速道路や大きなビルが崩壊した未曾有の大地震の中で、倒れた木を一本も発見できなかった。厳しい寒さから春となり、瓦礫の中から力強く芽吹いた雑草、草や木の生命力に人々はどれほど勇気付けられた事か。

華道の文化力

諸泉頼子

(華道専正池坊・日本礼堂小笠原流家元)

日本の伝統を受け継いできたわれわれにとって、大震災は自然からの厳しい怒りを受けたように思いました。

震災後、花の美しさ優しさに心癒され、日本人の育んできた華道の文化力に、改めて伝統の強さを認識しました。

人のやさしさやたくましさ世界へ内海元(関西民放クラブ)

震災の悲惨な体験を通じて、私たちは防災や復旧の知恵もさることながら、人のやさしさやたくましさや明日への力をくれることを学んだ。大規模な自然災害が続く今、神戸が世界に送るべき大切な情報の一つだと思う。

新さくら丸が応援消防士の宿舎に松浦睦夫

(クルーズのゆたか倶楽部代表取締役)

10年前、商船三井の「新さくら」をチャーターし、2月の鳥羽クルーズが400名で満席になっていた時、当時の運輸省から全国の応援に来る消防関係者の宿舎として船を使いたいとの要請により、お客様にお詫びをして微力ながら協力したことが思い出されます。

経験・教訓を次世代に

笹山幸後

(㈱神戸国際協力交流センター理事長)

神戸がさらに安全で安心して暮らせるまちにするために家庭、地域、そして職場で大震災の経験、教訓を次世代に伝えていきたいと思います。震災復興からまちづくりに関わってきた大好きな神戸を見守っていきます。

第二の震災

濱田明正(元神戸税関長)

神戸を知り、神戸を愛し、神戸を誇りに思う者にとって、『神戸っ子』を失うことは神戸が第二の震災に遭うようなものだ。

『神戸っ子』の復刊なくして神戸の復興なし。このように思うのは私だけではないと思う。

活かそう神戸の風土・産業・国際性  
渡邊百合(㈱マキシ代表取締役社長)

N o b l e s s e

O b l i g e e !

K O B E

O b l i g e e !

K O B E C C O

O b l i g e e !

神戸ならではの魅力、風土、産業、国際性を最大限に活かして日本全国、世界へ発信を！

国際都市へ新たなチャレンジ

キラン・S・セティ

(㈱ジュビタインターナショナルコーポレーション取締役専務)

新たなチャレンジを行うことによって、新たなチャンスが生まれます。来年度には神戸空港も開港します。このチャンスを通じて時代に合った国際都市神戸への変革を。



月刊神戸っ子が二〇〇一年に刊行した

## 「作家たちの大震災」より

阪神・淡路大震災  
一九九五―一九九七

# よみがえれ美しい神戸



街は潰れても

神戸っ子気質は潰れない



田辺 聖子

〈作家・伊丹市在住〉

こんどの大震災で、他都市の人がおどろいているのは、被災者の秩序正しさを、互いに協力して苦難をしのいでいる人情の厚さである。「核家族化の極限まで進んだ東京圏では、こんなシーンにお目にかかることができるか心配である。助けてくれるのが、飼い犬と飼い猫だけしかいなかったということにならないよう、個人の自立ばかりでなく他者とのふだんの絆を持つと考えると考え直したい」(95・1・27産経新聞「遮断機」という声が代表的なものだ。

そうなのだ、神戸は人情厚いまちである。ハイカラでありながら人間の情の濃いまち、そして市民それぞれに文化的蓄積があり、成熟しているという点でも、ユニークな風土なのだ。きつとめざましい復興を上げることであろう。

それに女性たちがみなエネルギーシユだ。向日性がある。まちの建物や道路は潰滅しても、気風は消失しない。窮境をはねかえす力があるかぎり、「美しい神戸」は再現すると信じている。

私は当日、仕事せず就寝していたおかげで無事だった。月半ばに締め切りが一つあるので普通なら夜半から早晩まで仕事をしている時間帯だったけれども、偶然、その夜は眠っていたので、本棚で押し潰されずにすんだというわけである。いつしよに神戸を再興させなさいよ、という神サマの思し召しかもしれない。五千余の人命を失ったことは癒せぬ痛手であるけれども、エネルギーシユな明るい「神戸っ子気質」で再びのしいまちを築きたいものである。

# 大不幸のあとには 見違える神戸が、きつと



故・淀川 長治  
〈映画評論家〉

「よみがえる神戸」——この題名で書けと申されたが二日たつても三日たつても書けない。がんばって今に立派に立ち直ってくださいなどしらじらしく書けるわけではない。今はチーンと沈みきったとき、それゆえガンバレの声は必要だろう。けれどガンバレなどかたんにはそう口から出ない。げんに共同通信のいかにも若い記者からこんなひどい映画館があるんですよと報告のファックスも私の手もとに送られてくる。神戸は三十才までの私の「ふるさと」。私はそのふるさとにどうしてあげようと考えこむ。八十才では出かけていちいちお見舞いもむりだ。それでいづれ常識がお見舞金を映画館の団体へお送りしてと思っている。

ところで、神戸だが、これは思いもかけなかった。関東大震災のときは天井からぶらさがっている電気ガラス傘がかすかにゆれた。するとすぐに号外のすずの音とともに「号外号外」の声が出た。その東京が今ここにある。

神戸は日本中いちばん個性のある都市だった。この「だった」という過去形はあるわけではない。焼け野原になろうが「神戸」。そこにいる「人」は、神戸気分を今もやっぱりに身にしませそれが「神戸の気分」を、今も持っているにちがいない。神戸に日本でも初めての活動写真が紹介された。明治二十九年だった。神戸はそのころ世界文化の入口だった。

それは、その気分、その誇りは今もあつて、私は神戸生まれ、神戸育ち、これに誰もが誇りをもっている。その神戸が焼け野原となったからとてこの神戸気分までも焼けつくすわけではない。今この目に見る神戸は残酷だ。けれど非情な言い方をして申し訳けないが、こうなつてこうなるという時が神戸ゆえ必ず来るであろう。おどろく日が来るであろう。神戸はその力を持っている。神があるかどうかかわらない。けれど、神戸は戦争でつぶされた都市ではない。大自然のなせるわざである。神のなせるわざではあるまいが、大自然のなせるわざ。これは、人の世の常、運命の常。それこそ神の目と神の心で、見ちがえる神戸となつて生まれかわる日が来るのだ。あの神戸と驚く日がこの大自然の大不幸のあとに来る。去年この目で見た広島島の立派さ。五年十年それが百年になるであろうとも神戸は日本一、世界注目の、神戸の個性をあふれさせた超大都市になることはまちがいない。

## 「作家たちの大震災

阪神・淡路大震災 一九九五年一一二七

あの日あの時を綴った二十人の作家たちのアンソロジー。

執筆者／陳舜臣 司馬遼太郎 小松左京 宮本輝 玉岡かおる 時実  
新子 阪田寛夫 黒岩重吾 藤本義一 田辺聖子 筒井康隆 安水稔  
和 高村薫 阿久悠 淀川長治 斎藤栄 村松友視 瀬戸内寂聴 五  
木寛之 山崎正和  
定価／本体2000円＋税